競技注意事項

１．本大会は、２０２３年度日本陸上競技連盟規則および本大会要項により実施する。なお宮崎陸協が作成した「新型コロナウイルスに対する大会参加に関する留意点」を遵守すること。３密にならないよう十分注意し、アップ中・競技中以外のマスクの着用や手洗い等励行すること。

２．招集について（招集所は競技場北側スタンド下倉庫、投てき競技は競技実施場所）

（１）競技者は招集完了時刻までに招集所に集合し、チェックを受ける。その後、役員の誘導に従い競技場に入場する。

（２）招集時刻は次の招集時刻一覧表のとおりとする。

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	競技開始３０分前	競技開始２０分前
投てき競技	競技開始３０分前	競技開始２０分前
跳躍競技	競技開始５０分前	競技開始４０分前
棒高跳	競技開始６０分前	競技開始５０分前

※競技者は、競技順序記載の該当する組の競技時刻に合わせて、チェックを受けること。

（３）招集完了時刻に遅れたものは欠場とみなし、出場を認めない。

３．アスリートビブスについて

（１）アスリートビブスの番号は、２０２３年度の日本陸連登録番号とし、各自で作成し胸背部に確実に付ける。トラック競技の腰ナンバーカードは主催者が準備する。

（２）跳躍競技の出場者は胸背部のいずれか一方のみでよい。

４．番組編成について（レーン順・試技順）

トラック競技のレーン順とフィールド競技の試技順は、主催者が抽選で決定し、プログラム記載の各競技者の登録番号の左に数字で示す。

５．１００m、１５０m、ハードル種目については、タイムレース予選を行う。

タイムレースの結果、上位８名を決勝進出者とする。なお、同記録の場合は、写真拡大により、1/1000 秒以上の差が認められた場合、優劣を判定して決勝進出者を決める。それでも決まらない場合は、抽選とする。

６．競技場は全天候舗装である。競技用靴の靴底の厚さについては、シューズに関する競技規則を適用する。ただし、フィールド競技用シューズの靴底の厚さについての規則については適用外である。

７．トラック競技について

スターターの合図は英語とし、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格させられる。

８．跳躍競技は、招集を受け、競技場に移動後、練習する時間を設ける。

９．三段跳は、女子が９m。男子が９m と１０m の踏切板で行う。

10．バーの上げ方

種目・区分		種　別	練　習	試　　技						
走高跳	男子	共　通	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	以降 3cm ずつ
	女子	共　通	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	以降 3cm ずつ
棒高跳		共　通	1m90	2m00	2m10	2m20	2m30	2m40	以降 10cm ずつ	

※天候等特別な状況が生じた場合、跳躍審判長の判断で変更することもある。

11．競技運営上、下記の種目は、計測記録を設ける。

走幅跳	男子	４m７０	※ 左記の計測記録に満たない場合は計測しない。ただし、満たない場合でも必ず１回目は計測を行う。
	女子	３m８０	
砲丸投	男子	７m５０	
	女子	７m００	
ジャベリックスロー	男子	３０m００	
	女子	２０m００	

12．使用器具は、競技場備え付けのものを使用する。

13．練習について

（１）トラック種目、走幅跳、三段跳は、多目的グラウンドで行うこと。ただし、周回しない種目や長距離種目の時間は、バックストレートを練習会場として開放する。係の指示に従うこと。

（２）投てき種目は、競技開始６０分前から本競技場で行うことができる。

14．オープン種目、Ｕ１８種目を除く各種目３位までに賞状を授与する。

15．Ｕ１６陸上競技大会（全国大会）参加資格について

（１）日本陸連が定めるＵ１６陸上競技大会（全国大会）参加標準記録に到達して参加申込を行い、日本陸連より正式参加者として認められた者（ターゲットナンバーが上限）。

（２）大会要項の競技種目に示す※印のある種目については、各都道府県の代表１名が参加できる。本大会において該当する種目で優勝した選手を推薦する。ただし、優勝した選手が参加を希望しない場合は、宮崎陸協強化部（中学校）が当該種目に参加した選手から選考し、推薦する。

（３）宮崎県選抜リレーチームの選考は、宮崎陸協強化部（中学校）が行う。

16．更衣室は、更衣の利用のみとする。更衣は速やかに行い退出すること。

17．競技結果等については、宮崎陸上協会 Mobile サイト（http://www.miyariku.org/keitai/index.html）に掲載する。また、競技場正面玄関前にも掲示する。